

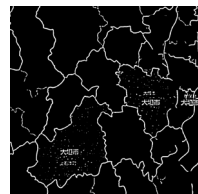


2022年 秋号  
発行元  
大垣市立図書館

10・11・12月の講座

- ふるさと古文書講座  
10月21日(金)  
11月11日(金)  
12月9日(金)
- ふるさと歴史講座  
10月6日(木)  
10月20日(木)  
オンライン歴史講座  
10月10日(月祝)  
11月3日(月祝)  
11月23日(水祝)  
12月10日(土)

大垣の秋占い



温かな気温で  
過ごしやすい  
「柿羊羹」を  
シェアして  
対人運アップ!

# 秀吉の歩み展 始まる

〜木下藤吉郎から豊臣秀吉まで〜

10月1日(土)から、「秀吉の歩み展」木下藤吉郎から豊臣秀吉まで〜が始まります。木下藤吉郎から豊臣秀吉と名乗るまでの歩みを合戦図などの資料とともに紹介する展示です。



山州山崎合戦図(江戸時代)

大垣市図書館3階郷土資料室  
**古地図**あります

ポケット学芸員  
利用可  
詳細は上記  
QRコードを確認

〔開催場所・期間〕  
大垣市立図書館  
3階郷土資料室展示コーナー  
令和4年10月1日(土)  
〜12月22日(木)  
上石津図書館 展示コーナー  
令和4年11月2日(水)  
〜11月23日(水・祝)  
午前9時〜午後5時まで  
(休館日は毎週火曜日、  
10月12・28日、  
11月4・24・25日)

## 自宅で学べる

# オンライン歴史講座 開講中

「もつと身近に、気軽に受講できる講座」を目的に9月から始まった「自宅で学べるオンライン歴史講座」。この講座はZoom配信のみのもので、祝日を中心として1月まで開催中です。

『大垣の城館めぐり』著者である坂東肇専門員が大垣を6つのテーマでひも解いてゆきます。9月19日の第1回目では「荒尾南遺跡」「東町田墳墓群」「昼飯大塚古墳」など、大垣の古墳・遺跡について紹介しました。

残りわずかではありませんが、こちらの講座はまだ受講可能です。ご希望の方は、3階郷土資料室までおたずねください。



講義中の坂東専門員

回	日にち	内容
1	9月19日(月・祝)	大垣の弥生・古墳時代 ※
2	10月10日(月・祝)	壬申の乱と西美濃
3	11月3日(木・祝)	関ヶ原合戦と大垣の城館
4	11月23日(水・祝)	大垣城の絵図
5	12月10日(土)	明治20年代の水害
6	1月9日(月・祝)	戦災復興

※Zoomのみの全6回(第1回は終了しました)。いずれも、午後1時30分〜2時30分(60分)

〔開催日時・内容〕

# 大垣よもやまコラム ものがたり大垣城

坂東 肇

(1) 大垣城ができる

城というものは、攻めてくる敵を防ぐものですから、かなり広い範囲が必要になります。大垣公園にそびえ立つ大垣城天守がありますが、これは城の一部で、天守だけで敵を防ぐことはできません。大方程度に溝を掘って、その土を利用して内側に堤防状の土塁を造る程度のものでした。堀の内部には、入口付近に櫓

## おすすめの1冊

### 『旧国名でみる日本地図』

平凡社 編



3階郷土資料室、  
上石津図書館にて  
ご覧いただけます

「美濃」「飛騨」は岐阜県の旧国名です。この本は、全国75の旧国名の歴史や名所、名物、ゆかりの人物などがわかる日本地図帳となっています。また、巻末には、現在の市区町村と旧国名の対照表も付いています。

中央部には屋形を造って敵に備えました。

天文13年(1544)に氏家直元(卜全)が城主になった頃、大垣付近は岐阜の斎藤氏の勢力範囲でしたが、南からは織田勢が迫っていました。そこで直元は、堀は深くして土塁は高くするとともに、大垣城の範囲を広げました。現在でいうと、東は廣嶺神社(守屋多々志美術館から約100m東)、南は市役所の駐車場あたり、西は郷土館あたり、北は高砂町二丁目あたりまででした。城の入口は、廣嶺神社付近に東大手門、ミズノカメラ前付近に南大手門の入口がありました。

## レファレンス 事例簿

郷土資料室では資料やデータベースを使って調べもののお手伝い(レファレンス)をしています。これまでいただいたレファレンスの中から大垣に関するご質問をご紹介します。

### 【お問い合わせ】

大垣の大水害を記録した石垣が大垣城にあると聞きましたが、いつ頃のことですか？

### 【回答】

『大垣市史 輪中編』によると、未曾有の大水害が明治29年(1896)の7月と9月にあったことがわかり、「当時の浸水水位が大垣城の石垣に刻まれ、その水位を今に伝えている」と記述があります。また、大垣市教育委員会発行の「大垣城」のパンフレットからも知ることができます。

### 【お問い合わせ】

大垣城にある「おあむの松」はいつ植えられたのですか？

### 【回答】

「おあむの松」は『おあむ物語』にゆかりがある松として名付けられたものです。大垣城の城西堀端にあった初代「おあむの松」は樹齢300年ほどの大松でしたが、第二次世界大戦の直前に枯れたそうです。戦後に植え継がれた松が2代目「おあむの松」となっています。大野国比古著『ふるさと教室』や、大垣市文化財協会編『大垣ものがたり』によると、昭和44年(1969)7月10日に2代目「おあむの松」の命名式が催されたとあり、そばには解説板が建てられています。

(2016年回答※)

※『中日新聞』によると、令和4年(2022)2月、大垣城の天守西側に3代目「おあむの松」としてクロマツが植樹されたとあります。2代目は枯れてしまったため、現在(令和4年9月時点)の「おあむの松」は3代目になります。

大垣を  
深めよ!

Gaki  
word

興文地区の町名を解答せよ。

読み仮名を書こう

1. 神田町
2. 西外側町
3. 室本町
4. 西長町
5. 鷹匠町

漢字で書こう

6. きどちよう
7. みどりちよう
8. ひがしとがわちよう
9. むろむらちよう
10. ばんぐみちよう

ヒントは『市政のあらし』に、  
解答は次号(冬号)に掲載します

### 『夏号』の解答

1	き	ん	2	ち	3	よ	う	
	そ		4	ど	う		6	う
		5	ど	う	ろ			
7	ゆ	き	か	う				ひ
				ん				き

大垣城



次号(冬号)へ続く